

事業者行動(計画・変更計画・報告)書

2024年7月30日

(宛先)
滋賀県知事

提出者

住所(法人にあっては、主たる事務所の所在地)
滋賀県大津市晴嵐一丁目16番1号

氏名(法人にあっては、名称および代表者の氏名)
日本精工株式会社 大津工場
執行役員 工場長 宇野 克彦

滋賀県CO₂ネットゼロ社会づくりの推進に関する条例

第25条第3項 → 第25条第4項
第27条第1項 → 第27条第2項において準用する同条例
第26条第1項
第27条第2項において準用する同条例第26条第1項

第25条第4項 の規定に基づき、
事業者行動計画を 策定 (変更)
事業者行動報告書を作成 したので、提出します。

事業者の氏名 (法人にあっては、名称および代表者の氏名)	日本精工株式会社 取締役 代表執行役社長・CEO 市井 明俊
事業者の住所 (法人にあっては、主たる事務所の所在地)	東京都品川区大崎1-6-3 (日精ビル)

1 事業所の概要

事業所の名称	日本精工株式会社 大津工場					
事業所の所在地	滋賀県大津市晴嵐一丁目16番1号					
主たる事業	日本標準産業分類 細分類番号	2	5	9	4	※ 産業分類・細分類名称を記載 玉軸受・ころ軸受製造業
事業の概要	軸受の製造					
従業員の数	634	人	操業時間	24	時間/日	
該当する事業者 の要件	☒ 原油換算エネルギー使用量が、年間1,500キロリットル以上の事業所を県内に有する事業者					
	☐ 従業員数が21人以上であって、エネルギー起源二酸化炭素以外の温室効果ガス排出量が、二酸化炭素換算で年間3,000トン以上の事業所を県内に有する事業者					
	☐ 任意提出事業者					
主要な設備	ボイラ	0	台	熱源設備	5	台
	コンプレッサ	12	台	空気調和設備	16	台
				照明設備	4257	台
				その他		

2 計画期間(および報告対象年度)

計画期間	開始 年度	令和2	年度	報告対象年度	令和5	年度
	終了 年度	令和5	年度			

3 計画の(内容・実施状況)

計画の (内容・実施状況)	別添のとおり
------------------	--------

注 用紙の大きさは、日本産業規格A列4番とします。

NSKグループが公開している環境方針の中に『1.脱炭素社会構築に貢献』と明記しており企業活動の根幹となっています。

また、NSKグループが2022年に策定してWebサイト上で公開している中期5カ年計画『MTP2026』中で、『2017年度比で2026年度はCO2排出量をスコープ1+2で50%削減する』との目標値を設定しているところです。

大津工場といたしましても『2026年度にCO2排出量を50%削減』及び『2035年度にCO2排出量実質ゼロ』を達成するために取組みを続けていきます。

社長

コアバリュー委員会

カーボンニュートラル推進部

その他の組織

※コアバリュー:安全、品質、コンプライアンス、環境

産業機械事業本部

生産本部

その他の部署

E&E本部

その他の部署

※E&E:Electrical & Electrification

※EHS:Environment,Health,Safety

EHS推進室

その他の部署

大津工場 工場長

その他の部署

環境管理委員会

省エネ委員会

その他の組織

省エネ技術委員会

生産技術課

EHS推進チーム

その他の部署

電気保全グループ

その他のグループ

環境担当

その他の担当

省エネ担当者

社長・事業本部・工場の縦横とカーボンニュートラル推進部やEHS推進室等からの横断による管理

- ・力率向上による線路損失と変圧器損失の低減
- ・高効率変圧器への更新
- ・生産設備の待機時電力削減
- ・高効率照明の採用(インバータ、CCFL、LEDなど)
- ・照明の自動点滅(消し忘れ防止)
- ・空気圧縮機の更新
- ・空気圧縮機の効率運転(自動台数制御)
- ・圧縮空気の製造圧力の低減
- ・圧縮空気の漏れ低減活動
- ・熱処理工程の処理能力改善
- ・空調熱源更新
- ・電動チャラーの採用

(第2面)

4 自らの温室効果ガス排出量の削減に向けた取組

(1) エネルギー起源CO₂排出量の削減に向けた取組の内容等

	取組項目	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	設備導入	照明器具更新(LED化)	R2～R5	R5予定分実施完
2	設備導入	はん用モーターを高効率モーターに交換	R2～R5	R5予定分実施完
3	設備導入	はん用ポンプを高効率ポンプに交換	R2～R5	R5予定分実施完
4	ポイント改善	熱処理炉オーバーホール	R2～R5	R5予定分実施完
5	ポイント改善	圧縮空気の漏れ低減活動	R2～R5	R5予定分実施完

(2) エネルギー起源CO₂以外の温室効果ガス排出量の削減に向けた取組の内容等

	温室効果ガスの種類	実施計画		実績報告
		取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1				
2				
3				

(3) 上記の取組により達成しようとする目標および目標の進捗に対する自己評価

取組目標および目標設定の考え方	目標の進捗に対する自己評価
◆CO₂排出量目標 2017年度(23,642t)を基準とし、2035年度にCO₂排出量がゼロになるように各年度の目標値を設定しています。2023年度の目標値は2017年度比▲36.1%の15,107tとしていました。 ※当工場管理上のCO₂排出量は係数等の違いにより本様式と若干異なっていますが本欄については当工場の管理上の数値を使用しています。 ◆エネルギー原単位目標 下記数式により計算した原単位の目標値を2023年度は2022年度比▲1.25%としていました。 原単位＝エネルギー(GJ)÷売上高(百万円) ※NSKグループで基準を統一するため、2022年度から原単位の分母を付加価値生産高から売上高へ改めました。エネルギー等原単位の推移は過去に遡って新しい基準に修正しています。	◆CO₂排出量結果 目標値15,107tに対して実績値は4,306t(▲81.8%)となり目標値を達成しています。 ◆エネルギー原単位結果 目標値9.34に対して実績値は9.05であり、達成となっています。

(4) 温室効果ガス排出量等の実績

		計画開始年度前年度の実績	実績報告				
			(令和2)年度	(令和3)年度	(令和4)年度	(令和5)年度	()年度
原油換算エネルギー使用量	kL	11,006	10,107	11,688	10,696	9,466	
温室効果ガス総排出量	t-CO ₂	16,779	14,980	18,052	14,376	15,697	
エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	16,779	14,980	18,052	14,376	15,697	
非エネルギー起源CO ₂	t-CO ₂	0	0	0	0	0	
CH ₄	t-CO ₂	0	0	0	0	0	
N ₂ O	t-CO ₂	0	0	0	0	0	
HFCs	t-CO ₂	0	0	0	0	0	
PFCs	t-CO ₂	0	0	0	0	0	
SF ₆	t-CO ₂	0	0	0	0	0	
NF ₃	t-CO ₂	0	0	0	0	0	
エネルギー等原単位の推移		9.58	9.42	8.52	9.46	9.05	

備考「温室効果ガスの種類別の排出量内訳」欄については、事業者行動計画の提出義務の要件に該当しない温室効果ガスの排出量は、記入する必要はありません。

(第3面)

5 再生可能エネルギー等の利用に関する取組

(1) 再生可能エネルギー等の利用に関する取組の内容等

■ 計画最終年度までの取組の内容等

	実施計画		実績報告
	取組の内容	実施スケジュール	取組の実施状況
1	令和5年4月から再エネ電力(高圧分)を導入	令和5～	2023年4月度から再エネ電力(高圧分)導入済
2			
3			
4			
5			

■ 中長期的な取組の内容等

	取組の内容
1	2035年度までのCO2排出量実質ゼロに向け再エネの導入も選択肢に入れ検討中。
2	
3	
4	
5	

(2) 所有する主な再生可能エネルギー設備

太陽光	0	kW	水力・小水力	0	kW	地熱	0	kW
太陽熱	0	kW	バイオマス	0	kW	その他 ()	0	kW
再エネ設備を効率的に利用する設備の導入実績	導入実績はありません。							

(3) 再生可能エネルギー電気設備での発電量および自家消費量の実績

		計画開始年度 前年度の実績	実績報告				
			(令和2)年度	(令和3)年度	(令和4)年度	()年度	()年度
再エネ電気設備での発電量	kWh	0	0	0	0		
上記のうち自家消費量	kWh	0	0	0	0		